

友人への手紙から

大柳 真理子

本宮高校へ転勤してきて四か月がたとくとしており、夏休みももうすぐです。転任の話があつたときには、だれでもそつとううと思いますが、三年間親しんだ学校・生徒・その他さまざまなものへの絶ちがたい愛着と、新しく自分を取り囲むことになる未知なものに対する不安とで、とても迷い、考えに考えました。その結果、同じ年代の同じ高校生じやないか、そんなに違ひのあるはずはない。今までどおりにやればいいんだ。そう思つてこちらの学校へ来ました。ところが違うのです。

言葉遣い、動作、ふんい気、おまけに顔つきまで違つて感じました。私自身も三年前の教員に成り立てのころは、何もわかりませんから、言葉一つしゃべるにも生徒がどんな反応を示すか伺いながら、というぐあいでしたが、今度は三年間の経験がありますから、少しづかり自信を持つて生徒と接するのですが、その自信が逆に障害になつているようでもスムーズにいきません。といつて別な言葉を使えば白けたような感じになるのです。

かなり前に読んだ新聞に、女の先生の言葉が悪いというある母親の段書がありました。

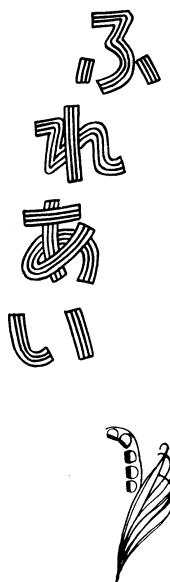
載つていきましたが、生徒と話をする場

合には、彼らと同じ言葉使いをしたほうがうまく会話を進むし、また、男子の生徒にとっては、授業もそのほうが聞きやすいようでした。三年もたつと意識せずに、棚倉の方言で語せるまでになつていました。そして、こちらに来てもそんな言葉遣いが自然に口から出てくるし、そのほうが生徒とも早く親しめるんじやないかと思つていてしまつたのに、なんということでしょう。

ある日、生徒たちが私の言葉が悪いというよくな話をしてゐる中で、あの子はからず、ただ生徒の練習をじつと眺めているだけでしたが、見慣れてくるにつれ、上手な生徒のフォームと比べたり、本を読んだりなどして、あの子はそこが悪いようだとほんの少しですがわかるようになつてきました。実際は生徒のほうがよく知つており、今までのやり方も尊重しようと思うと、つらがわかるようになつてきました。実際に強くなるように、彼らと後何年かいたけれど、生徒の勝つてうれしそうにしている顔を一度見ただけで、もつと強くなるように、彼らと後何年かいつしょにやつてみよなどと、虫のいことを考えたりしています。

(県立本宮高校教諭)

教育隨想



転勤してきてすぐ、私は、全然畠違

いの卓球部を任せられました。高校時代にクラブに入つて少しでも経験していれば、生徒といつしょに練習もでき技術的な指導もできるのでしょうかが、大学二年のとき体育の授業で半年ほどやつただけですから、何もできずどうしようかと戸惑いました。

初めて、生徒を引率していった試合では、点が入る度に、リズムをとつた拍手と「ヨシ」という声が沸き起るのに目を丸くしているようなほんとうの素人です。ペンもシェークもよくわからず、ただ生徒の練習をじつと眺めているだけでしたが、見慣れてくるに出てくるし、そのほうが生徒とも早く親しめるんじやないかと思つていてしまつたのに、なんということでしょう。

ある日、生徒たちが私の言葉が悪いというよくな話をしてゐる中で、あの子はからず、ただ生徒の練習をじつと眺めているだけでしたが、見慣れてくるにつれ、上手な生徒のフォームと比べたり、本を読んだりなどして、あの子はそこが悪いようだとほんの少しですがわかるようになつてきました。実際は生徒のほうがよく知つており、今までのやり方も尊重しようと思うと、つらがわかるようになつてきました。実際に強くなるように、彼らと後何年かいたけれど、生徒の勝つてうれしそうにしている顔を一度見ただけで、もつと強くなるように、彼らと後何年かいつしょにやつてみよなどと、虫のいことを考えたりしています。

(県立本宮高校教諭)

そんなことを言われたことがあります) それで、ほんのちよつとしたことでも気がついたことはどんどんアドバイスするよつにしています。それが全く見当違つたこともありますが、私にとつてはとてもよい勉強ですし、生徒もそこで考えたり工夫したりすることにより、それをプラスの方向に持つていくこともできると思うのです。

今度の県総体の予選では、一年生がとてもがんばり、私も初めて勝つ気分を味わいました。生徒が努力して得た勝利の喜びを、自分で得たようを感じるなんて、ズウズウしい氣もしますがこれでようやく顧問らしくなれたなと思ひました。自分には勤まりそつもなから、一年で降りようと考へていましたけれど、生徒の勝つてうれしそうにしている顔を一度見ただけで、もつと強くなるように、彼らと後何年かいつしょにやつてみよなどと、虫のいことを考えたりしています。